

TOP MUSEUM

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita Meguro-ku Tokyo 153-0062
TEL 03-3280-0099 FAX 03-3280-0033
www.topmuseum.jp

TOP コレクション たのしむ、まなぶ 夢のかけら

TOP Collection: Learning The Fragments of Dream

2018年8月11日(土・祝) - 11月4日(日)

最初から決まった答えなんかない、だから写真は楽しい。



ジャック・アンリ・ラルティエグ 《デスピオ、アンダイ》 1927年 ゼラチン・シルバー・プリント

展覧会概要

TOP コレクションは、毎年1つの共通テーマで、東京都写真美術館のコレクションを紹介する展覧会シリーズです。今年「たのしむ、まなぶ」をテーマに、34,000点を超える当館のコレクションの中から、鑑賞者の好奇心をかきたて、遊び心をふくらませる魅力的な作品を紹介します。

TOP コレクション第2期は、「作品」という名の夢のかけらを手がかりに、新鮮な驚きのある作品体験へと皆様を誘います。この展覧会は、子供から大人まで、見たものや感じたことを自由に語りあって、作品の見方を深めていくことを目指しています。作品から読み取り、感じ取ることでできる数々の夢や想い、そして過去の記憶。想像力を働かせ、感覚をクリアにして、さまざまなイメージを体感してみてください。この展覧会では、美術作品の鑑賞アプローチとして近年注目される、対話鑑賞の方法を活用して、教育普及担当者の視点から作品選定と展覧会構成を行いました。知識や経験にとらわれず、柔軟な視点でコレクション作品を捉え直すことを意図した展覧会です。

自由に、感じるままに—— この展覧会はそんな気分を大切にしています。たとえば第一室の展示は、フランスの写真家ジャック・アンリ・ラルティエグによる「ジャンプ写真」から始まります。夏の海辺で男の人がビーチボールめがけて一心に飛んでいます。ラルティエグは高齢になるまでプロの写真家ではありませんでした。幼い頃から、こうした遊び心にあふれた日常光景をたくさん撮影しています。この作品からは、彼が感じたその時の楽しさが、ダイレクトに伝わってくるはずです。こんな写真を撮ったラルティエグは、きっと子供の心を持ち続けた大人だったのではないのでしょうか。

本展覧会は「大人+子供×アソビ」、「なにかをみている」、「人と人をつなぐ」、「わからないことの楽しさ」「時間を分割する、積み重ねる」、「ものがたる」、「シンプル・イズ・ビューティフル」、「時間の円環」という8つのセクションにわけて、当館の約34,000点以上のコレクションの中から選りすぐった古今東西の名品をご紹介します。

展示構成

1. 大人+子供×アソビ



植田 正治 《パパとママと子どもたち》
〈綴り方・私の家族〉より 1949年
ゼラチン・シルバー・プリント

2. なにかをみている



ロベール・ドアノー 〈ヴィトリヌ、ガレリア・ロミ、パリ〉より
1948年 ゼラチン・シルバー・プリント
© Atelier Robert Doisneau/Contact

3. 人と人をつなぐ



ロベール・ドアノー 《パリ市庁舎前のキス》1950年
ゼラチン・シルバー・プリント
© Atelier Robert Doisneau/Contact



山田 実 《手をつないで 糸満漁港》1960年
ゼラチン・シルバー・プリント

4. わからないことの楽しさ



マーティン・パー 《ニュー・ブライトン》
〈Home and Abroad〉より 発色現像方式印画

5. 時間を分割する、積み重ねる



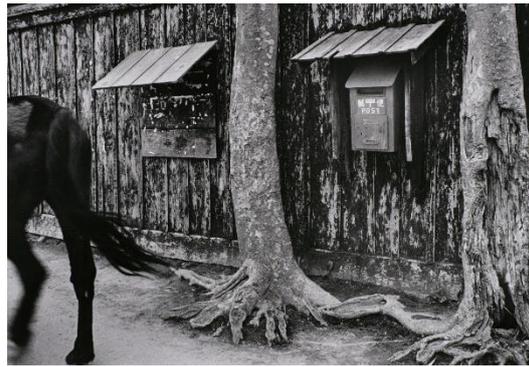
ハロルド・ユージン・エジャートン 《ミルクの中に落としたクランベリージュース》
1960年 ダイ・トランスファー・プリント
© 2010 MIT. Courtesy of MIT Museum

6. ものがたる



瑛九《家・窓・人》〈フォトデッサン〉より 1950年
ゼラチン・シルバー・プリント

7. シンプル・イズ・ビューティフル



木村 伊兵衛《秋田市追分・板塀》
1953年 ゼラチン・シルバー・プリント



濱谷 浩《田植女》
〈裏日本〉より 1955年
ゼラチン・シルバー・プリント

8. 時間の円環



宮崎 学《冬・ニホンジカ 1993年2月10日》
〈死〉より 1993年 銀色素漂白方式印画

出品点数 計 147 点(写真作品 146 点、映像作品 1 点)

出品作家 計 50 アーティスト

ジャック・アンリ・ラルティエグ、林ナツミ、井上孝治、ロベール・ドアノー、山田寛、井出傳次郎、W.ユージン・スミス、本城直季、フェリーチェ・ベアト、ナダール、岩合徳光、ハロルド・ユージン・エジャートン、石田尚志、瑛九、竹村嘉夫、今道子、篠山紀信、川田喜久治、宮崎学 ほか (順不同)

東京都写真美術館の写真コレクションについて

当館では、「写真作品（オリジナル・プリント）を中心に、写真文化を理解する上で必要なものを、幅広く収集する」ことを基本方針に、1989(平成元)年より作品の収集をおこなっています。写真史において重要な国内外の作家・作品を幅広く、体系的に収集するとともに、日本の代表的作家も重点的に収集しています。写真通史を網羅する膨大な当館コレクションは、世界の美術館でも数多く展示されています。

関連事業

担当学芸員によるギャラリートーク

会期中の第2・第4金曜日 16:00 より担当学芸員によるギャラリートークを行います。本展チケット（当日消印）をご持参のうえ、3階展示室入口にお集まりください。



「イントゥ・ザ・ピクチャーズ」展
手話つきギャラリートーク（参考図版）

手話通訳つきギャラリートーク

2018年9月14日(金)、10月12日(金)の16:00～
第1金曜日は上記「担当学芸員によるギャラリートーク」を手話通訳つきで行います。

じっくり見たり、つくったりしよう！

2018年10月28日(土) 10:30～13:00
写真にまつわる制作を体験したり、展示室で作品について楽しく話し合ったり、一度にさまざまな体験ができるプログラムです。*作品解説ではありません。

対象：小学生とその保護者（2人1組） 定員：10組（事前申込制、先着順）

参加費：800円（別途本展観覧チケットが必要です）



H29年度「TOPコレクション 平成をスクロールする 秋期 シンクロシティ」展
じっくり見たり、つくったりしよう！
（参考図版）

視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

2018年9月2日(日)／10月14日(日) 各日 10:30～13:00

障害の有無にかかわらず、多様な背景を持つ人が集まり、言葉を交わしながら一緒に美術を鑑賞するワークショップです。

対象：どなたでもご参加いただけます。 定員：各日7名 事前申込制

参加費：500円（別途本展観覧チケットが必要です）

クロマキーランド

2018年9月22日(土) 14:00～17:00

「クロマキー合成」によって、実際にそこにはない、ユニークな記念写真を撮影します（予約不要）。

対象：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料

対話型作品鑑賞会

2018年9月27日(木)／10月25日(木) 18:30～

参加者で対話を交えながら作品を鑑賞します。＊作品解説ではありません。

本展チケット（当日消印）をご持参のうえ、3階展示室入口にお集まりください。

「たのしむ、もらう」TOP スタンプラリー

本展、「TOP コレクション 夢のかけら」展（8月1日～11月4日開催）、映像展「マジック・ランタン 光と影の映像史」展（8月14日～10月14日開催）の3展をご覧いただくと、もれなくオリジナルグッズがもらえるスタンプラリーを開催します。

お得にたのしむ、サマーナイトミュージアム

2018年8月16日(木)から8月31日(金)までの木・金曜日はサマーナイトミュージアムを実施、21時まで開館します。＊入館は閉館の30分前まで

また、サマーナイトミュージアムは夏の夜を涼しく、お得に展覧会をご覧いただけます。

学生・中学生無料／一般・65歳以上は団体料金 ※各種割引との併用はできません

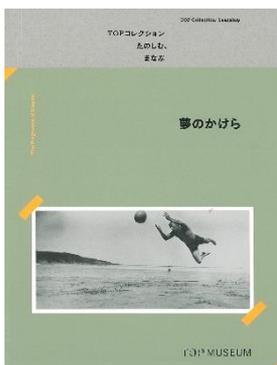
展覧会図録

『TOP コレクション たのしむ、まなぶ』

本展および前回「イントゥ・ザ・ピクチャーズ」展の2期を含むTOP コレクション展より、代表的な出品作品を掲載（「イントゥ・ザ・ピクチャーズ」展より64点、「夢のかけら」展より65点）。ミュージアムショップで発売中。

テキスト 佐伯胖（さえきゆたか 田園調布学園大学大学院教授、東京大学・青山学院大学 名誉教授）武内厚子（当館学芸員）、石田哲朗（当館学芸員）

編集・発行 東京都写真美術館 1,620円（税込）



開催概要

主催 東京都 東京都写真美術館

協賛 凸版印刷株式会社

会場 東京都写真美術館 3階展示室

東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

Tel 03-3280-0099 URL <http://topmuseum.jp>

開館時間 10:00～18:00 (木・金は 20:00 まで)

ただし、8月16日(木)、17日(金)、30日(木)、31日(金)はサマーナイトミュージアム期間中のため 21:00 まで開館 ※入館は閉館 30 分前まで

休館日 毎週月曜日 ただし、毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日休館)

観覧料 一般 500 (400) 円 / 学生 400 (320) 円 / 中高生・65 歳以上 250 (200) 円

※ () は 20 名以上団体、小学生以下および都内在住・在学の中学生、障害手帳をお持ちの方とその介護者は無料、第 3 水曜日は 65 歳以上無料

※8月16日(木)から8月31日(金)18:00～21:00 はサマーナイトミュージアム割引
学生・中学生無料 / 一般・65 歳以上は団体料金(各種割引の併用はできません)

このリリースのお問い合わせ先

このリリースに掲載されている図版をデータにてご用意しております。

掲載をご希望の際は、下記広報担当までご連絡ください。掲載点数が1点の場合は、展覧会メインイメージとして、本リリース表紙にあります、

ジャック・アンリ・ラルティエグ 《デスピオ、アンダイ》 1927 年 ゼラチン・シルバー・プリント

のご掲載をお薦めいたします。

図版をご掲載の際は、必ず作品キャプションおよびクレジットの表記をお願いします。

また、図版のトリミングや文字掛け等の加工はできません。

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 東京都写真美術館

Tel 03-3280-0034 Fax 03-3280-0033 <http://topmuseum.jp>

展覧会担当 石田哲朗 t.ishida@topmuseum.jp

広報担当 久代明子 平澤綾乃 前原貴子 press-info@topmuseum.jp